

## 平成22年度 第12回部長会（概要報告）

- ・日 時 平成23年1月7日（金）午前9時～
  - ・場 所 八尾市役所庁議室
  - ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長等
- .....

### 田中市長あいさつ

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

年末の部長会でも申し上げましたが、年末年始に出勤していただいた職員の皆さんには、大変ご苦勞をかけました。ありがとうございました。

部局長の皆さんからも労いの言葉をかけていただきたいと思います。

それでは、年初に当たり本年の抱負をお話させていただきたいと思います。

各方面の新年のご挨拶等で、常に申し上げてきておりますが、本市の未来への夢と希望が詰まった、今後10年間のまちづくりの指針となる「八尾市第5次総合計画」が本年4月から始動いたします。計画策定に際し、市民の皆様方にお話を伺い、頂いたご意見は、八尾のまちづくりを進める上で、かけがえのない財産となりました。

将来都市像である『元気をつなぐまち、新しい河内の八尾』を実現すべく、八尾の良さである市民力をはじめ、多彩な地域資源の「元気」を引き出し、「新しい河内の八尾」を力強くつくりあげるため、精一杯努力していく覚悟でございます。

また、地域分権を成し遂げるための重要な年になると考えていますし、今年一年間で国と地方の関係や制度などに大きな変化があらうかとも考えています。

特に、子ども手当の支給については、国・地方との信頼関係を揺るがす一方的な国の方針に基づき、制度がスタートいたしました。全国市長会としても、厳しい姿勢で、交渉を行ってまいりました。私も、近畿市長会の副会長の立場にありますので、近畿として一致団結して、この件に関して取り組むとの姿勢を、役員会等で確認させていただいたところです。

結果、国において、24年度以降の制度設計に向けて市町村と協議の場をもつことなど、一定の措置が講じられることとなったことなどを受け、全国市長会として、次年度に向けて協議を行うことの方針が示されています。今後、全国市長会の動向や各市の意向等もあるとは思いますが、一定その方向で事務を進めざるを得ないのではないかと考えています。

いずれにせよ、本市としての方針を決め、明確に国に対し発言をしてきたいと考えていますが、子ども手当の問題だけでなく、国や大阪府への対応として、従来の考え方にとらわれず、地方分権、さらに本市独自の地域分権を進めるうえで、必要な制度を構築し、国に対しても必要なことは意見できるような行政組織であってほしいと考えております。

そうした視点で、国や大阪府に対する要望についても、再度点検していただき、八尾市が今何をめざし、何故この時期にこの要望をしているのかなど、これまでの財政的な支援や制度拡充などの視点だけでなく、明確なまちづくりのビジョンをもって対処願いたいと考えています。

そのためにも市民の皆さんの声をしっかりと聞かせていただきたいと思いますし、各部局長の提案も積極的にお願いしたいと考えています。私も地域分権の流れをしっかりと捉えて、地域のまちづくりを大きく進める年にしたいと考えていますので、皆さんとこういった思いを共有し、頑張りたいと思っています。

2月13日には、大阪市が主催する地域フォーラムのなかで、大阪市の平松市長、そして近畿市長会会長の小野市の蓬萊市長、そして副会長の私がパネルディスカッションをすることになりました。こういった席の中で、八尾市の地方分権のあり方など、今まで皆さんと議論を重ねてきたことの話ができればと考えています。また、平松市長とも大阪の町をどうするのか、隣接都市協議会や広域連携などの見通しなども含めて議論ができればと思っています。皆さん方からも、このディスカッションに臨むにあたり、何か意見や提案などがありましたら、是非報告をお願いします。

新年が明けますと、新鮮な気持ちとなりますが、本年も引き続き、親切丁寧な市役所をめざしていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

また、新年度に向けての政策、組織については議会のご承認をいただき、市民の皆さんに対しての説明責任を果たしてきたと考えております。予算については新年度当初は骨格予算となり、6月定例会で本予算となります。本予算が決まる6月からスタートするということにはなるのですが、それまでにしっかりと準備を進め、これまで決定してきた方針がすぐにスタートできるようよろしくお願い致します。

本年の干支が卯年で、ウサギといえば耳が特徴的ですが、新年早々、耳の痛い話をお話いたしました。市民の皆さんからの声にしっかりと耳を傾け、市政に活かしていただきたいと思います。そして市民・事業者の皆さんといかに連携してまちづくりを進めていくということが地域分権を進める基本であると考えております。

何度も言うようですが、今年1年が八尾市にとりまして持続可能な都市として進んでいくことができるかどうかの大きなターニングポイントであると考えておりますので、職員の皆さんと一丸となって改革を前進させ、素晴らしい1年にするために頑張っていきましょう。

本年もよろしくお願い致します。

## <案件の前に>

### 第17回統一地方選挙における職員応援について

林選挙管理委員会事務局長

4月の統一地方選挙における「期日前投票事務」及び「選挙当日の投・開票事務」の職員応援についてお願い申し上げます。

まず日程であるが、統一地方選挙の前半の大阪府議会議員選挙については、4月1日に告示され、4月10

日が投開票日となり、後半の八尾市議会議員選挙及び八尾市長選挙は、4月17日に告示され、4月24日が投開票日となる。

そこでご依頼であるが、まず資料にある「期日前投票の各部応援について」である。

表にお示しのとおり、今回の期日前投票事務の輪番による職員応援については、⑦のこども未来部1人、経済環境部1人 ⑧の教員委員会1人、消防本部1人の計4人をご依頼申し上げます。改めて人事課の方から各部署にご依頼させていただくが、応援をお願いする期間は、3月31日から4月25日までとなる。

各所属とも忙しく、人員の厳しい折であるが、応援の期間中は同一の方に来ていただきたく、ご配慮の程お願い申し上げます。

次に、選挙日当日の「投票事務及び開票事務の応援について」は、府議選では、投票事務は291人、開票事務は121人、市議・市長選では、投票事務は338人、開票事務は241人の態勢での実施を予定しており、本日もご了承いただいた後、各部署長と全課にメールでお願いをしたいと考えているので、お願い申し上げます。

なお、定期人事異動が選挙期日までにあるが、異動がある場合にも変更することなく、その方が事務についていただくように重ねてお願い申し上げます。

お忙しい中大変恐縮であるが、各部総務担当所属とりまとめの上、1月末にはご報告いただくようお願いする。

最後に、これまで多くの職員の理解と協力をいただき、各種選挙を適切かつ無事に執行させていただいており、今回も協力をお願い申し上げます。

**福田市立病院事務局長** 当日の職員応援は当然行うが、期日前投票の応援職員については、職員数も減っているなか、工夫をお願いできないか。

⇒**林選挙管理委員会事務局長** 個人情報保護の関係など課題もあるが、引き続き検討させていただく。

## 案 件

### 1 KES認証確認審査の実施について

#### 公共施設周辺の清掃活動について

角柿経済環境部長

#### ○KES認証確認審査の実施について

今年度のKES認証確認審査の実施についてご協力をお願いする。

本市では、平成19年3月に本庁舎と清掃庁舎において、KES環境マネジメントシステム ステップ2の外部認証を取得した。認証の更新審査は毎年実施されることになっており、実施日については平成23年2月16日(水)を予定している。

対象部署については、資料にあるように、市役所の西館を含む本庁舎と清掃庁舎に所在する部署である。

当日、午前9時から10時まで庁議室において、オープニングミーティングを実施する。

最高責任者の市長をはじめ、両副市長、環境管理責任者の経済環境部長、部局環境管理責任者の各部署長、実行責任者としての総務課長、環境事業課長、資源循環課長、財産活用課長、環境保全課長と内部環境監査責任者の出席をお願いする。

審査員から市長へのトップインタビューが行われ、環境保全課長がプレゼンテーションを行う。

午後からは部門別審査が行われる。総務部、人権文化ふれあい部、こども未来部、経済環境部、土木部、学校教育部の6部局で、各部署45分程度の審査が行われる。部門別審査の重点事項は資料のとおりであるが、事前に事務局より説明を実施している。

以上、ご協力をお願いします。

### ○公共施設周辺の清掃活動について

この清掃活動については、平成18年10月から本庁舎をはじめ公共施設の周辺において、毎週水曜日の就業前に職員のボランティアによって取り組んでいただいているが、企業の社会的責任活動が活発となるなかで、行政としても出来ることを行っていこうと、KESの取り組みをきっかけとして行っているものである。

昨年末に各部局から積極的にご参加をいただいたが、今後とも持続可能なものとしていくためにも、引き続き各部局においてご参加を呼びかけていただくようお願いする。

あわせて、昨年末に実施した清掃活動を年末恒例の取り組みとしていきたいと考えており、ご協力をよろしくお願いする。

**野村水道事業管理者** 水道局のKES認証確認審査は、2月9日の午前9時から午後4時まで実施する。

**田中総務部長** 年末の取り組みでは、100名を超える職員の参加をいただいた。また、新年1月5日の初出勤時の本庁舎周辺清掃活動においても、いつもより多くの職員にご参加をいただいた。あわせてお伝えをいただきたい。

**原副市長** 年末恒例となるように取り組むことへの異議はないと思うが、ご協力をよろしくお願いしておく。

## 2 八尾の地域資源情報収集協力依頼について

角柿経済環境部長

八尾市の地域資源情報収集協力依頼の件について、ご説明申し上げます。

八尾市には、歴史遺産、農産物、自然風景、文化伝統や特色ある工業製品、すぐれた生産技術、工場集積を含めた産業資源など様々な地域資源が数多く存在している。

これら地域資源を複合的に活用することによって、本市の魅力を市内外に幅広く発信して、多くの人に八尾に「住みたい」「住み続けたい」あるいは「訪れたい」というように八尾のまちに愛着を持っていただけるよう取り組みたいと考えている。

そのため、現在別々にとりまとめられている本市の地域資源について、再整理を行うとともに、まだ市民にも認知されていない地域資源の発掘も含めて情報収集し、分野別・地域別に整理する「地域資源発掘・整理事業」を今年度国の緊急雇用創出基金事業を活用して、八尾商工会議所に業務委託して実施しているところである。

ついては、各所属において把握されている本市の地域資源について、情報提供にご協力をお願い申し上げます。

地域資源の情報の中身については、別途総務担当所属長会議に調査票の様式をお示したうえ、会議終了後に全課メールにてご依頼し、調査票回答期日は1月28日(金)とさせていただくので、よろしくお願いする。

なお、収集したデータについては、現在構築作業をしている仮称「八尾市観光 Web サイト」を通じて、広く発信していく予定である。

**光久政策推進担当部長** これまで、八尾の対外的に誇れる地域資源を様々な媒体を活用して発信してきたが、新たな魅力の発掘や創造、観光の促進につなげていくことが大切になってきていると思う。

総合計画を着実に推進するため、4月からの機構改革で、産業政策課内に「魅力創造室」を設けることになるが、4月からの円滑なスタートを切るための今は大切な期間でもあるので、今回の「地域資源情報の収集」については、その取り組みの一つと考える。また、今回の機構改革に伴い、新設課や所属間の移管事務などが発生する。政策推進担当としても協力をさせていただくので、4月から新総合計画に沿った十分な取り扱い

が出来るよう、各所属での取り組みについてご配慮をお願いする。

**山本副市長** 組織機構の問題については、12月定例会で相当議論をいただいた。4月1日から事務をすすめていく立場というではなく、戦略を持ち、スケジュールをつくりあげて動き出すということが大事だと思う。組織としてしっかりスタートを切れるよう、各部局で対応をお願いする。

**原副市長** 文化協会において、八尾と縁があった詩人・作家の萩原朔太郎にちなみ、「とをるもう賞」という賞をつくれ、広く作品を公募し、1等には50万円のほか、出版の支援も行うなどの取り組みをされる。これも八尾市をPRするひとつの事業であり、各部局にあっても視野を広げ情報の集約をお願いする。

**田中市長** 商工会議所には地域資源の情報収集を担当する職員が4人おられ、市内を駆け回って情報収集されている。先日、意見交換をさせていただいたなかで、私の思いを述べさせていただいた。

それは、(1)八尾の中での歴史的認識、時代背景などをしっかりおさえること、(2)それぞれの地域資源、文化をしっかりとっておさえること、(3)年間を通じて地域で様々な行事があり、それをおさえること、(4)八尾の著名人物をおさえること、である。

各部局でもこれらの観点を参考に、それぞれ情報を出していただくようお願いする。

### 3 その他案件

#### (1) 平成22年度やおちよい変え運動庁内報告会の実施について 光久政策推進担当部長

本年度取り組みの「平成22年度やおちよい変え運動」では、各職場において、市民サービスの向上のために、職員の知恵と創意工夫により業務改善に努めていただいたところである。

当運動を推進する中で、様々な職場で実践されている優れた取り組みを庁内で共有し、全庁的な大きな動きとして更なる改善を進めるため、昨年度に引き続き、2月15日(火)に市役所本館第2委員会室において、庁内報告会を開催することとしたので、ご報告申し上げます。

報告会当日のスケジュール等、詳細については、次回の部長会にてお知らせするので、所属職員の参加・見学にご配慮くださるようお願い申し上げます。

なお、庁内報告会で最優秀賞に選ばれたチーム(係)については、平成23年3月4日(金)に岩手県北上市で開催される『第5回全国都市改善改革実践事例発表会』に参加していただくこととなっているので、申し添える。また、報告会への参加者決定に先立ち、各職場における取り組み内容に係る報告シートを12月27日迄に、取り組みを自己評価するアンケートを本日までにご提出いただくこととなっている。

今後、これらの内容を踏まえ、ちよい変え運動実行委員会において、庁内報告会の参加者を決定し、庁内報告会への参加につき依頼させていただく予定をしているので、未提出の所属におかれては、至急ご提出いただくよう、あわせてお願い申し上げます。

<発言は特になし>

#### (2) 市庁舎職員消防訓練について 田中総務部長

市庁舎における職員消防訓練についてご説明申し上げます。

日時は、「防災とボランティアの日」に合わせて、平成23年1月17日(月)午前8時45分から9時15分までとし、庁舎本館5階から9階の各所属を対象としており、火災発生想定箇所は本館7階給湯室を予定している。

該当する所属には、既に、参加職員名簿の提出依頼をしているが、訓練の内容は、通報訓練、避難誘導訓

練、初期消火訓練を予定しており、終了後、消防職員による講評をお願いしている。

訓練に参加しない職員にあっては、訓練の間、市民サービスの低下がないよう対応をお願いする。

以前、講評でも厳しい指摘を受けており、また市庁舎は、多くの職員が勤務しているほか、毎日多くの方が来庁されている場所であることから、訓練参加者にあっては気を引き締めて取り組んでいただくようお願いする。

なお、「防災とボランティアの日」である1月17日は、平成7年に起こった阪神・淡路大震災の日でもあり、甚大な被害を出した大震災を教訓とする貴重な機会として設定しており、あわせて職員への周知をお願いする。

**大辻消防長** 自分も過去訓練を見せていただき、訓練がなっていないと講評したことがあった。それは、職員の皆さんが消防設備の所在は分かっている、その扱い方を知らないといった基本的なことが出来ていなかったからである。火災の際には、職員が最初に初期消火にあたるわけで、それを万全にやっておかないと大きい被害を生むことになりかねない。この訓練で身に付けておかないと他にやる機会がない。職員は有事の際にどうすべきかを理解したうえで、訓練の取り組みをお願いしたい。

**田中市長** 消防訓練を通して、消防設備の使い方について改めて職員が理解して使えるよう、取り組んでいただきたい。

### (3) 国際交流事業について

武田人権文化ふれあい部長

最初に、大韓民国大邱広域市中区との交流事業についてであるが、昨年6月3日開催の部長会において、視察団の派遣・受入れの予定としていたが、今年度内での日程調整が事実上困難となり、改めて次年度で調整することとなったため、中止とさせていただく。

また、中華人民共和国上海市嘉定区との幹部訪問団派遣事業、両市区の青少年交流事業、交換職員受入事業の4事業についても、事業の実施時期について調整を続けてきたが、今年度内において、実現する状況には至らないと判断いたし、中止とさせていただく。

この度の交流事業の中止に際し、派遣を予定されていた幹部職員の方々や教育関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

<発言は特になし>

### (4) 「平和のつどい」の開催について

武田人権文化ふれあい部長

非核・平和啓発事業である「平和のつどい」の開催について、ご案内申し上げます。

本市では、昭和58年に非核・平和都市宣言を行い、以後、毎年、さまざまな非核・平和啓発事業を実施している。

本年度については、昨年5月に世界の147ヶ国、4207の自治体が加盟する平和市長会議に加盟し、他都市と連携して国際社会へのアピールを行うとともに、市内での啓発事業として、今年度の非核協の重点事業であるコミュニティセンター等10箇所を利用した市内巡回ミニミニ原爆展を開催している。

こうした事業に加え、来月の2月4日には、全国の日本非核宣言自治体協議会加盟都市の首長等が本市に集まる同協議会の役員会・研修会が本市で開催され、翌日の5日(土)には、資料のとおり、本市の啓発事業「平和のつどい」として、2009年のチェコ・プラハでのオバマ演説以降、国際的な核廃絶の機運が高まる中で、被爆地の自治体である長崎市の田上市長を講師に「未来に生きる子どもたちのために～核なき世界へ～」をテーマとした講演会及び堀絢子さんによるひとり芝居「朝ちゃん～命の大切さを伝えたい～」を実施する。

本事業については、土曜日という参加しにくい日程とはなっているが、すでに12月14日付け人材育成室から事務連絡により自主参加研修として全庁に通知されているとおり、非核・平和を考える貴重な機会として、ぜひとも多くの職員が参加するよう、各所属を通じて、職員への周知をお願い申し上げます。

<発言は特になし>

## その他

### ○年賀交礼会のお礼

田中総務部長

昨日、皆様のご協力をいただき、年賀交礼会を無事終えることができ、お礼申し上げます。なお、集計の結果、商工会議所と本市をあわせ、昨年同様、約700名の出席であった。

### ○消防出初式と成人式の協力依頼

大辻消防長、斉藤こども未来部長

来る1月10日にそれぞれ実施することとなり、ご協力よろしく願います。